

関西大学社会安全学部・独立行政法人自動車事故対策機構共催
■シンポジウム■

自動運転の普及と 事業用自動車ドライバーの運転行動

2020年 11月9日 月 13:30-16:30
(開場12:30)

会場：関西大学梅田キャンパス 8階 Me RISE ホール

大阪市北区鶴野町1番5号 (JR大阪駅、阪急大阪梅田駅)

※ コロナ禍の状況次第ではオンラインセミナーに切り替える場合があります

参加費
無料

自動運転自動車の開発・普及、ドライバーの高齢化の進展など、事業用自動車の運転環境は今、大きく変わろうとしています。それに伴い自動車事故対策機構等が実施してきた運転適性診断も見直しが求められています。本シンポジウムでは、旧システムと新システムが混在する交通環境の中での、事業用自動車ドライバーの運転行動の望まれるあり方について探ります。

プログラム

総合司会 中村隆宏 (関西大学教授)

13:30~13:40 開会挨拶 安部 誠治 (関西大学教授) ・ 濱 隆司 (自動車事故対策機構理事長)

13:40~13:55

「将来の交通環境における適性診断のあり方」

太田 誠一・田所 和朗 (自動車事故対策機構)

13:55~14:45

「自動運転車の安全性の最新動向とSAKURAプロジェクトの現状」

北島 創 (日本自動車研究所主任研究員)

コメント 伊藤 誠 (筑波大学教授) ・ 篠原 一光 (大阪大学大学院教授)

14:45~15:10

「ドラレコ記録から検証するタクシードライバーの運転行動」

伊藤 大輔 (関西大学准教授)

15:20~15:45

「自動運転時代の過失責任の捉え方」

岡本 満喜子 (関西大学准教授)

15:45~16:30

質疑応答

講演

講演者プロフィール



北島 創

きたじま そう
一般財団法人日本自動車
研究所安全研究部主任研
究員



伊藤 誠

いとう まこと
筑波大学システム情報系
教授
経済産業省自動走行ピシ
ネス検討会委員



篠原 一光

しのはら かずみつ
大阪大学大学院人間科学
研究科教授



岡本 満喜子

おかもと まきこ
関西大学社会安全学部
准教授



伊藤 大輔

いとう だいすけ
関西大学社会安全学部
准教授



太田 誠一

おおた せいいち
独立行政法人自動車事
故対策機構安全指導部
関西大学協力研究員



田所 和朗

たどころ かずあき
独立行政法人自動車事
故対策機構安全指導部
関西大学協力研究員

[申込方法] 関西大学社会安全学部ホームページ又はQRコードからお申し込みください
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

定員100名(先着順) 定員になり次第受付を終了させていただきます

[お問い合わせ先] 関西大学社会安全学部安部研究室 TEL: 072-684-4176 (平日の午後のみ通話可能)
E-mail: sirokawa@jm.kansai-u.ac.jp (担当: 城川)

[主催] 混在交通下の事業用自動車運転者を取り巻く環境シナリオ等に関する研究会

